

2010 道東トレセンマッチ 報告書 U-14

期 日 平成22年10月30日(土)～31日(日)

会 場 札内川河川敷サッカー場

《U-14》

1. 参加選手(計13名)

菊地 本気(SC)、二木 悠伍(景雲)、山内 誉樹、熊谷 雄斗、松原 竜毅(以上シュペルブ)
島森 圭弥、平岡 樹(以上富原)、【平岡は当日、発熱のため、欠席】

※以下U-13から飛び級

大西 一生、竹川 薫紋、森山 泰地、清田 匡佑(以上シュペルブ)、佐々木史人(景雲)、岡本 拓朗(富原)

2. はじめに

今年最後の外でのマッチ、また回数が少ない選手を優先しての遠征であった。ゲームに入る前に、攻撃守備両面で特に気をつけたいことについて話をした。

オフザピッチでは、今回初めてトレセンマッチに参加する選手も数名いたため、いつもより指導に重点を置いた。責任をもって行動する、時間厳守、ゲームとそうでないときにスイッチの切り替え、チェックインする前には、ロビーでルールやマナーの徹底について話をした。

◎攻撃…→むやみに蹴らずに、ねらいを持ってプレーする

→できるだけ多くの人がボール保持者に対して、パスコースに入る(サポート)

→トップやボランチに入ったときの前や横のアクションをする(裏へのとびだし・ワンツー)

◎守備…→オフ時でのポジショニングに気をつける(裏をとられず、常にインターセプトを狙える位置)

→相手のボール保持者の状況(On・Off)を見てのプレーをする

→攻撃から守備・守備から攻撃への切り替えを早くする

→セットプレーや中盤でのセカンドボールへの寄せを早くする

3. ゲーム

個としては、どのチームも力が拮抗していたが、基本的なパス&コントロールのミスでボールを失う場面があった。それほどハイプレッシャーでなくてもあわててしまい、止める・蹴る・ドリブルといった技術を発揮することはできなかった。相手からの激しいコンタクトを受けることで、精神的にも弱気になってしまい簡単にミスをしボールを失ってしまう場面が多く見られた。また、トップスピードでボディバランスを保てない選手も多かった。また、攻守が切り替わったときのファーストポジションが悪く、ワイドなポジションや高いポジションをとれなかったりする選手が多かった。

攻撃では、奪ったボールをしっかりと味方につなげることができず、簡単に失ってしまう場面が見られた。効果的なくさびのパスが入っていたが、それに対してのサポートが少なく、囲まれてしまい、奪われることもあった。ボランチなどが仕掛けても2トップしかかかわることができずに、プレッシャーを受け、奪われたり、裏へ強引にパスを出し、失うこともあった。またスルーパスなどを出しても、質が悪く、キーパーにとられることが多かった。また、判断がなく、相手に囲まれてしまいそうな所にパスを出し、簡単に奪われることがあった。

1日目のミーティングで課題を確認し、修正を試みたが、守備から攻撃の切り替えが遅く、サイドなどで効果

的にかかわることができなかった。しかし、ゴールに向かう姿勢やトップが落ちてきたスペースへボランチがとびだしたり、サイドMFがうらへ抜け出したりなど、有効にかかわりが増えたため、得点をとったり、多くの決定機を作り出すことができるようになった。あとは、ゴールチャンスをしっかり決めるフィニッシュの精度が必要である。中盤ではギャップによく顔を出しボールを受け、くさびを入れたり、スルーパスを出したり、サイドに散らせるようになり、ポゼッション率が高まった。よくまわりを観てプレーする選手が増え、効果的なサイドチェンジやワンツーカーなどが見られ、課題を修正することができた。

守備では、全体的にポジショニングが悪く、インターセプトできなかつたり、簡単に前をむかれてしまう場面があり、シュートまで持って行かれていた。1stDFのアプローチが遅く、後手に回ることが多くあった。前をむかれずディレイしている場面でも、2ndDFが寄せきれずに、奪うチャンスを逃すことがあった。

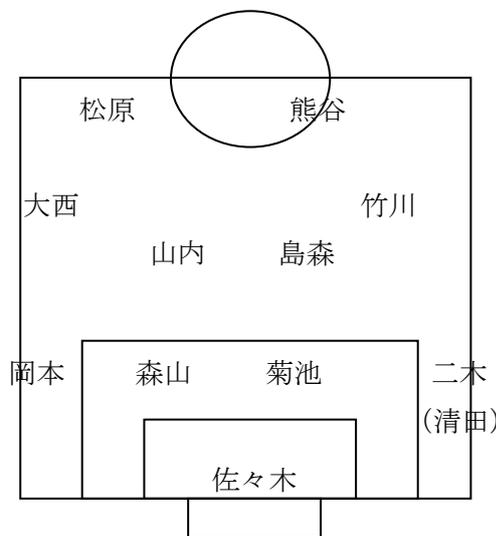
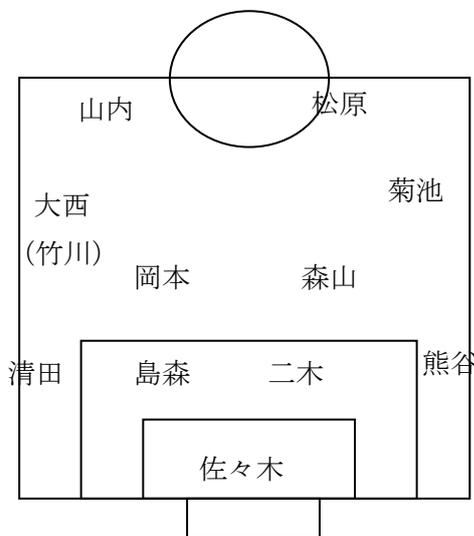
これもミーティングで課題を確認しあった結果、2日目はインターセプトの意識が高まり、その場面も多く見られていた。その奪ったボールをしっかり味方につなぎたかったが、パスミスなどがあった。セットプレーなどでのセカンドボールへの寄せも早くなったり、前からのチェイシングも有効だった。

CBのポジショニングが悪く、裏をとられ失点する場面はあったものの、それ以外はGKの単純なミスやCBのコントロールミスなどで決められるなど、崩されての失点はほとんどなかったことは評価すべき点である。

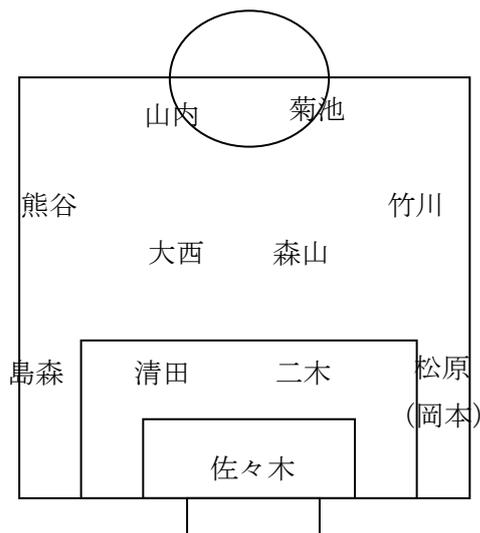
1日目:10/30(土)

①1試合目 vs 帯広南部(30分) 0-0

②2試合目 vs 帯広東部(30分)0-3

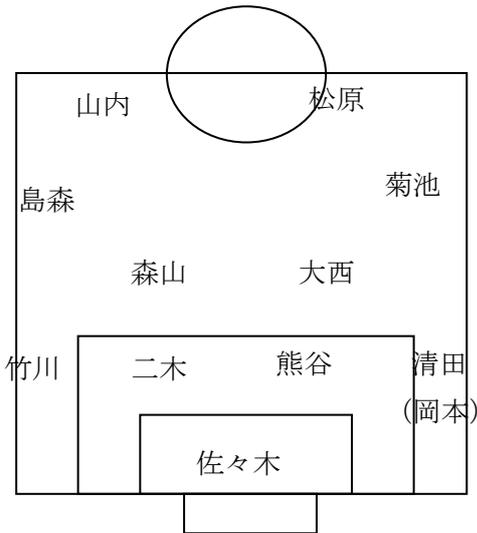


③3試合目 vs 帯広中部(30分) 0-2

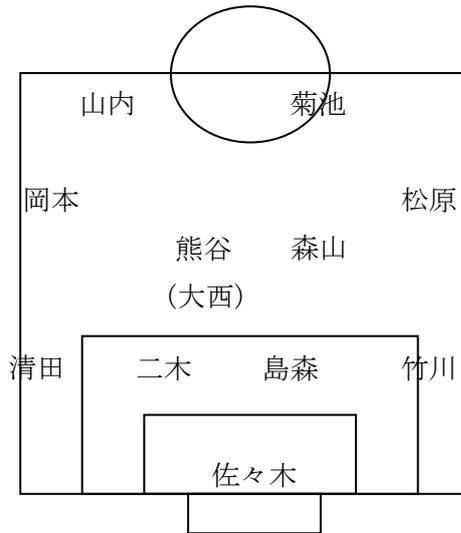


2日目:10/31(日)

①1試合目 vs 帯広北部(30分) 1-2
G:山内



②2試合目 vs 帯広西部(30分) 1-1
G:菊池



③3試合目 vs 北見市(30分) 0-2



4. 今後の課題

- 攻撃…①観る(ボールがくる前・移動中)
- ②パス&コントロール(ハイプレッシャーの中でも)
- ③意図的なポゼッション
- ④ビルドアップ
- ⑤フィニッシュの精度
- 守備…①1対1の対応
- ②チャレンジ&カバー
- ③攻守の切り替え
- ④インターセプトの意識(ポジショニング)

5. 個人講評

	選手氏名	所属チーム	講 評
1	菊地 本気	SC釧路	
2	二木 悠伍	景雲	
3	山内 誉樹	シュペルブ	
4	熊谷 雄斗	シュペルブ	
5	松原 竜毅	シュペルブ	
6	島森 圭弥	富原	
7	大西 一生	シュペルブ	
8	竹川 薫紋	シュペルブ	
9	森山 泰地	シュペルブ	
10	清田 匡佑	シュペルブ	
11	佐々木史人 (GK)	景雲	
12	岡本 拓朗	富原	